平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名　ソースネクスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4344　URL　http://www.sourcenext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松田　憲幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　アドミニストレーショングループ担当執行役員　(氏名) 青山　文彦　TEL 03-6430-6406

定時株主総会開催予定日　平成24年6月25日　有価証券報告書提出予定日　平成24年6月26日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	5,287	32.3	300	―	266	―	421	172.3
23年3月期	3,995	―	△402	―	△448	―	154	―

(注)包括利益　24年3月期　421百万円　(172.3%)　23年3月期　154百万円　(―%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	2,653.82	―	77.8	8.9	5.7
23年3月期	974.56	―	61.0	△12.6	△10.1

(参考) 持分法投資損益　24年3月期　―百万円　23年3月期　―百万円

(注)23年3月期より連結財務諸表を作成しているため、23年3月期の対前期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	3,064	751	24.5	4,739.64
23年3月期	2,942	330	11.2	2,085.82

(参考) 自己資本　24年3月期　751百万円　23年3月期　330百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	1,088	△324	△231	967
23年3月期	504	208	△353	434

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
25年3月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,612	2.2	152	39.3	135	30.6	140	53.0	882.56
通期	5,315	0.5	356	18.5	324	21.8	330	△21.5	2,083.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	158,660 株	23年3月期	158,660 株
② 期末自己株式数	24年3月期	― 株	23年3月期	― 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	158,660 株	23年3月期	158,660 株

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	5,287	32.3	300	―	266	―	421	171.8
23年3月期	3,995	△37.8	△402	―	△447	―	154	―

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	2,653.74	―
23年3月期	976.51	―

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	3,044	752	24.7	4,741.50
23年3月期	2,942	331	11.3	2,087.77

(参考) 自己資本 24年3月期 752百万円 23年3月期 331百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1.経営成績(1)経営成績に関する分析(次期の見通し)」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績 …… 2
（１）経営成績に関する分析 …… 2
（２）財政状態に関する分析 …… 5
２．経営方針 …… 7
３．連結財務諸表 …… 8
（１）連結貸借対照表 …… 8
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 10
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 12
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 13
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 14
（６）連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 …… 14
（７）追加情報 …… 14
（８）連結財務諸表に関する注記事項 …… 14
（セグメント情報等） …… 14
（１株当たり情報） …… 14
（重要な後発事象） …… 14

１．経営成績

（１）経営成績に関する分析

①全般的概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による悪化から持ち直しの傾向がみられたものの、海外経済の減速や欧州諸国の金融不安の深刻化が懸念されることなどによる円高の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、JEITAの発表によると、近年続いている低価格ノートパソコンの需要増加などにより、当連結会計年度のパソコン出荷台数は前年比108.0％と好調に推移いたしました。また、当連結会計年度におけるパソコンソフトウェアの店頭実売実績につきましては、前年比88.4％で推移いたしました。（※）

こうした状況の中、当社グループは以下の施策に注力して参りました。

※平成23年４月～平成24年３月ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ、全国有力家電量販店の販売実績の集計結果

イ）セキュリティソフト

平成22年８月より「ウイルスセキュリティZERO®」の１台用USBメモリ版を1,980円（税込）にした「ウイルスセキュリティZERO® 1,980円」の発売を開始し、発売以来店頭での販売促進の強化を推し進めて参りました。その結果、平成23年PCソフト市場において製品別年間販売本数シェア第１位を獲得し、平成24年に入ってからも引き続き１月、２月に製品別月間販売本数シェア第１位を獲得するなど、好調に推移いたしました。また、平成23年12月に世界最高レベルの技術を持つBitdefender,SRLの製品を更新料０円にした「スーパーセキュリティZERO®」の発売を開始し、３月のPCソフト市場において製品別月間販売本数シェア第７位を獲得するなど、好調に推移しております。

上記の施策を行なった結果、当連結会計年度における「セキュリティ」シリーズの店頭販売本数は前年比110.3％となり、販売本数シェアは20.8％（前連結会計年度は17.5％）と大幅にシェアを回復しております。

ロ）マルチデバイス対応

成長著しいスマートフォン市場において、平成23年12月に英語学習アプリケーション「超字幕」のiPad版の発売を開始し、App Store iPadアプリトップセールスランキングで第１位を獲得いたしました。また、平成23年９月に「Android厳選アプリ」シリーズとして10タイトルの新製品の発売を開始し、「Android厳選アプリ　超節電」と「Android厳選アプリ　動画で英単語」につきましては、平成24年３月よりKDDI株式会社が提供するAndroid™スマートフォン向け月額サービス「auスマートパス®」に採用されております。パソコンソフトという枠にとらわれず、さまざまなデバイスに対応したソフトウェアやアプリケーションを提供するため、開発や研究に注力しております。

ハ）製品内購入機能実装

既存ユーザーへの追加販売を目的とした製品内購入機能の実装及び強化を図って参りました。製品内購入機能とは、製品内から自然な導線を張り、追加機能をインターネット上で簡単に購入できるサービスを提供するというものであります。当連結会計年度におきましては、既存の「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザー793万人（平成24年３月末現在）に対し、オプションとして、バックアップ機能及びファイルの安全消去などが行なえるツールの販売を開始いたしました。その結果、１億11百万円の売上を獲得しております。

ニ）在庫の削減

店頭在庫の稼働基準の大幅な見直しなどにより在庫の適正化に引き続き注力して参りました。その結果、返品が大幅に減少し、製品評価損及び製品廃棄損が91百万円（前連結会計年度は２億99百万円）となり前年比69.4%の減少となりました。また、在庫金額が１億８百万円（前連結会計年度は３億94百万円）となり、前年比２億86百万円減少したことにより、 保管費が32百万円（前連結会計年度は60百万円）と前年比46.6%の減少となりました。

ホ）販売費及び一般管理費の削減

在庫削減による保管費の減少に加え、外部委託しているユーザーサポート業務及びITシステム維持管理等の内製化や、費用対効果を考慮した広告宣伝費の見直し、その他人件費、販売促進費等を中心に削減施策を推し進めた結果、販売費及び一般管理費は26億90百万円（前連結会計年度は28億59百万円）となり、前年比5.9%の減少となりました。

これらの施策により、当連結会計年度の売上高は52億87百万円（前連結会計年度は39億95百万円）となり、前年比132.3%と大幅に増加いたしました。また、販売費及び一般管理費については、売上高が増加した一方で前年比5.9%の減少となり、利益構造が大幅に改善しております。

	平成23年３月期 上期	平成23年３月期 下期	平成24年３月期 上期	平成24年３月期 下期
売上高	16億36百万円	23億59百万円	25億56百万円	27億30百万円
売上総利益	10億22百万円	14億34百万円	13億76百万円	16億14百万円
売上総利益率	62.5%	60.8%	53.8%	59.1%
販売費及び一般管理費	14億72百万円	13億87百万円	12億67百万円	14億23百万円
営業利益又は営業損失(△)	△4億50百万円	47百万円	１億９百万円	１億91百万円
経常利益又は経常損失(△)	△4億72百万円	24百万円	１億３百万円	１億63百万円
当期純利益又は当期純損失(△)	１億59百万円	△４百万円	91百万円	３億29百万円

②販売チャネル別の状況

イ）店頭販売

当販売チャネルでは、家電量販店及び書店等において、個人ユーザー向けの国内店頭市場の開拓・拡大を目的として、パッケージソフトウェア製品の販売活動を展開しております。

当連結会計年度におきましては、既存製品である「ウイルスセキュリティ」シリーズや「筆王®」の販売促進に注力するとともに、平成23年12月に「スーパーセキュリティZERO®」の発売を開始したほか、「Android厳選アプリ」の携帯ショップ約5,000店舗での展開を開始するなど、国内店頭市場の開拓・拡大を推し進めて参りました。さらに、引き続き店頭在庫及び当社在庫の適正化に努めた結果、返品が大幅に減少したことにより当販売チャネルの売上高は21億44百万円（前年比59.2%増）となりました。

ロ）EC（インターネット販売）

当販売チャネルでは、当社のwebサイトにソースネクストeSHOPを併設し、ソフトウェア製品のパッケージ販売、ダウンロード販売及びパソコン関連機器を中心としたハードウェア等のインターネット販売を行なっております。店頭市場や他社webサイト等で当社製品を購入した顧客が、当社webサイトにてユーザー登録することにより、専用の「マイページ」の閲覧等が可能となり、また、この情報を用いて、メールニュースの配信等「One-To-Oneマーケティング」を行なっております。平成24年３月末時点のメールニュース購読者数は、393万人を超えております。

当連結会計年度におきましては、引き続きダウンロード製品の販売に注力したことに加え、製品内購入機能を実装し、既存の「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザー793万人（平成24年３月末現在）に対し、オプションとして、バックアップ機能及びファイルの安全消去などが行なえるツールを発売した結果、売上高は31億42百万円（前年比18.7%増）となりました。

③次期の見通し

店頭市場につきましては、「ウイルスセキュリティZERO® 1,980円」や平成23年12月に発売を開始いたしました「スーパーセキュリティZERO®」の店頭での販売促進の強化を徹底して行なうと共に、イメージキャラクターとして平成22年３月から引き続きタレントのベッキーさんを起用し、プロモーションの強化及びイメージの定着を図ることで、店頭実売の向上及びシェアの拡大を図って参ります。また、ECにおいて2012年内発売予定の新OS「Windows8」対応版へのアップグレードによる更新料収益が見込まれるほか、引き続き在庫の適正化や製品原価の改善を推し進めることにより、売上総利益率は改善する見込みです。さらに、成長著しいスマートフォン市場につきましては、製品ラインアップの拡大を図ると共に、携帯ショップでのプリペードカード販売やシリアル番号販売、並びにKDDI株式会社が提供するAndroid™スマートフォン向け月額サービス「auスマートパス®」等への展開を推し進めることで、さらなる収益拡大を図って参ります。

販売費及び一般管理費においても、営業活動に影響を及ぼさない範囲で引き続き削減を図って参ります。また、将来の収益拡大や費用削減に向けたシステム投資を新たに行なって参ります。

これらの施策により、平成25年３月期の連結業績予想につきましては、売上高53億15百万円、営業利益３億56百万円、経常利益３億24百万円、当期純利益３億30百万円を見込んでおります。なお、当期純利益につきましては、当連結会計年度より法人税等調整額１億81百万円を計上したことにより、平成25年３月期の税金等調整前当期純利益は増加するものの、当期純利益は減少する見込みであります。平成25年３月期では、32百万円の法人税等調整額の計上を見込んでおります

	平成24年３月期 実績	平成25年３月期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	52億87百万円	53億15百万円	28百万円	0.5%
売上総利益	29億91百万円	31億69百万円	１億78百万円	6.0%
売上総利益率	56.6%	59.6%	―	―
営業利益	３億円	３億56百万円	55百万円	18.5%
経常利益	２億66百万円	３億24百万円	58百万円	21.8%
税金等調整前当期純利益	２億41百万円	３億24百万円	82百万円	34.2%
法人税等合計	△１億79百万円	△５百万円	１億73百万円	―
当期純利益	４億21百万円	３億30百万円	△90百万円	△21.5%

（２）財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べ１億22百万円増加し、30億64百万円となりました。流動資産は、３億79百万円増加し21億26百万円、固定資産は、２億56百万円減少し９億37百万円となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加５億33百万円、売掛金の増加78百万円、商品及び製品の減少２億86百万円、前渡金の減少87百万円、当連結会計年度より税効果を認識したことによる繰延税金資産の増加１億49百万円によるものであります。固定資産の減少の主な要因は、償却による商標権の減少１億66百万円によるものであります。

当連結会計年度末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ２億98百万円減少し、23億12百万円とな

りました。流動負債は、２億64百万円減少し23億７百万円、固定負債は、34百万円減少し５百万円となりました。流動負債の減少の主な要因は、１年内返済予定の長期借入金の返済による減少１億91百万円、1年内償還予定の社債の償還による減少50百万円によるものであります。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の１年内返済予定の長期借入金への振り替えによるものであります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ４億21百万円増加し、７億51百万円となりました。純資産の増加の要因は、当期純利益４億21百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ５億33百万円増加し、９億67百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ収入が５億84百万円増加し、10億88百万円の収入となりました。

主な要因は、業績が大幅に回復したことによる利益増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度は２億８百万円の収入でありましたが、３億24百万円の支出となりました。

主な要因は、前連結会計年度における超字幕ソフトウェアの売却による収入６億30百万円、ソフトウェアの取得による支出の減少72百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ支出が１億22百万円減少し、２億31百万円の支出となりました。

主な要因は、長期借入れによる収入の減少４億66百万円、長期借入金の返済による支出の減少５億38百万円、社債の償還による支出の減少50百万円によるものであります。

（参考）　キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年３月期	平成21年３月期	平成22年３月期	平成23年３月期	平成24年３月期
自己資本比率	39.2	6.1	4.2	11.2	24.5
時価ベースの自己資本比率	176.5	42.0	130.7	90.4	93.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	87.0	―	―	345.6	138.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	46.1	―	―	10.7	25.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー／利払い

※平成21年３月期及び平成22年３月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

２．経営方針

平成23年３月期決算短信（平成23年５月13日開示）により開示を行なった内容から重要な変更がないため開示を省略いたします。

当該決算短信は、次のＵＲＬからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

http://www.sourcenext.com

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html

３．連結財務諸表
（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	434,314	967,328
売掛金	625,964	704,715
商品及び製品	394,737	108,616
原材料及び貯蔵品	24,924	18,368
前渡金	218,975	131,773
繰延税金資産	－	149,572
その他	48,278	46,556
流動資産合計	1,747,194	2,126,931
固定資産		
有形固定資産		
建物	79,417	79,417
減価償却累計額	△37,005	△54,691
建物（純額）	42,411	24,725
工具、器具及び備品	83,983	92,278
減価償却累計額	△61,589	△72,830
工具、器具及び備品（純額）	22,393	19,447
リース資産	20,028	20,028
減価償却累計額	△9,930	△13,935
リース資産（純額）	10,097	6,092
有形固定資産合計	74,903	50,265
無形固定資産		
商標権	212,506	46,218
ソフトウエア	623,406	614,860
その他	89,620	21,052
無形固定資産合計	925,532	682,130
投資その他の資産		
繰延税金資産	－	31,956
その他	193,783	173,526
投資その他の資産合計	193,783	205,482
固定資産合計	1,194,219	937,879
繰延資産		
社債発行費	1,019	－
繰延資産合計	1,019	－
資産合計	2,942,433	3,064,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,897	204,469
短期借入金	348,267	384,790
1年内返済予定の長期借入金	1,318,682	1,127,082
1年内償還予定の社債	50,000	－
未払金	313,741	250,798
未払法人税等	6,757	9,018
賞与引当金	－	3,015
返品調整引当金	110,153	79,141
アフターサービス引当金	69,097	62,586
在外子会社清算損失引当金	－	3,859
その他	140,021	182,637
流動負債合計	2,571,618	2,307,398

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
固定負債		
長期借入金	25,000	－
その他	14,879	5,421
固定負債合計	39,879	5,421
負債合計	2,611,498	2,312,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△3,051,518	△2,630,462
株主資本合計	330,935	751,991
純資産合計	330,935	751,991
負債純資産合計	2,942,433	3,064,810

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	3,995,664	5,287,209
売上原価	1,929,827	2,327,089
売上総利益	2,065,836	2,960,119
返品調整引当金繰入額	110,153	79,141
返品調整引当金戻入額	501,315	110,153
差引売上総利益	2,456,998	2,991,131
販売費及び一般管理費		
販売促進費	365,873	398,035
給料	386,192	352,384
賞与引当金繰入額	－	3,015
業務委託費	667,882	645,820
その他	1,439,214	1,291,030
販売費及び一般管理費合計	2,859,162	2,690,286
営業利益又は営業損失（△）	△402,163	300,845
営業外収益		
受取利息	71	101
為替差益	7,034	7,372
その他	1,269	1,537
営業外収益合計	8,375	9,011
営業外費用		
支払利息	47,202	41,985
その他	7,084	1,191
営業外費用合計	54,286	43,177
経常利益又は経常損失（△）	△448,074	266,679
特別利益		
固定資産売却益	588,774	－
ロイヤリティ契約変更差益	78,885	－
未払金精算益	7,645	3,157
特別利益合計	675,306	3,157
特別損失		
前渡金評価損	34,994	19,957
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,083	－
在外子会社清算損失引当金繰入額	－	3,859
過年度業務委託費確定額	32,550	－
減損損失	676	4,077
特別損失合計	70,304	27,894
税金等調整前当期純利益	156,927	241,942
法人税、住民税及び事業税	2,304	2,415
法人税等調整額	－	△181,528
法人税等合計	2,304	△179,113
少数株主損益調整前当期純利益	154,623	421,055
当期純利益	154,623	421,055

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前当期純利益	154,623	421,055
包括利益	154,623	421,055
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	154,623	421,055

（３）連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	1,771,226	1,771,226
当期末残高	1,771,226	1,771,226
資本剰余金		
当期首残高	1,611,226	1,611,226
当期末残高	1,611,226	1,611,226
利益剰余金		
当期首残高	△3,206,141	△3,051,518
当期変動額		
当期純利益	154,623	421,055
当期変動額合計	154,623	421,055
当期末残高	△3,051,518	△2,630,462
株主資本合計		
当期首残高	176,311	330,935
当期変動額		
当期純利益	154,623	421,055
当期変動額合計	154,623	421,055
当期末残高	330,935	751,991
純資産合計		
当期首残高	176,311	330,935
当期変動額		
当期純利益	154,623	421,055
当期変動額合計	154,623	421,055
当期末残高	330,935	751,991

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	156,927	241,942
減価償却費	209,220	193,807
ソフトウエア償却費	221,923	249,265
商標権償却費	166,287	166,287
賞与引当金の増減額（△は減少）	－	3,015
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△391,161	△31,012
アフターサービス引当金の増減額（△は減少）	△10,129	△6,511
在外子会社清算損失引当金繰入額	－	3,859
受取利息	△71	△101
支払利息	47,202	41,985
固定資産売却損益（△は益）	△588,774	－
減損損失	676	4,077
売上債権の増減額（△は増加）	1,040,330	△78,750
たな卸資産の増減額（△は増加）	209,800	292,676
前渡金の増減額（△は増加）	76,350	87,201
仕入債務の増減額（△は減少）	△362,270	△10,427
未払金の増減額（△は減少）	△254,398	△71,016
その他	34,976	45,570
小計	556,890	1,131,870
利息の受取額	71	101
利息の支払額	△50,585	△40,715
法人税等の支払額	△2,304	△2,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	504,072	1,088,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,391	△6,241
ソフトウエアの取得による支出	△405,985	△333,533
ソフトウエアの売却による収入	630,000	－
差入敷金保証金の返還による収入	－	14,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	208,622	△324,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	39,744	40,400
長期借入れによる収入	466,664	－
長期借入金の返済による支出	△755,314	△216,600
社債の償還による支出	△100,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△4,605	△4,834
配当金の支払額	△17	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353,528	△231,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	△5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	359,056	533,013
現金及び現金同等物の期首残高	75,258	434,314
現金及び現金同等物の期末残高	434,314	967,328

（５）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（６）連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

該当事項はありません。

（７）追加情報

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

（８）連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

前連結会計年度（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）

当社グループは、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自　平成23年４月１日　至　平成24年３月31日）

当社グループは、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

項目	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
１株当たり純資産額	2,085円82銭	4,739円64銭
１株当たり当期純利益金額	974円56銭	2,653円82銭

(注)1　潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注)2　１株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	154,623	421,055
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る当期純利益(千円)	154,623	421,055
普通株式の期中平均株式数(株)	158,660	158,660

(重要な後発事象)

該当事項はありません。